

梅酒特区勉強会を発足

美郷商工会 製造法など研究へ

全国初の梅酒特区認定を目指す美郷商工会（吉野川市）は十日、地元の梅農家や住民らと美郷梅酒勉強会を発足させた。

梅酒の造り方などを一年間研究し、来年からの製造・販売を目指す。

美郷中筋の市ふるさと

センターでの初会合には二十四人が出席した。河

野利英商工会長が「梅酒

造りは美郷ならではの事一つ。崇城大学薬学部（熊野川市）の村上光太郎教授が、質の高い果実酒の造り組みたい」とあいさ

り方などについてアドバイスした。
三十年以上梅を栽培している藤岡茂利さん（六八）
美郷品野は「現在は青梅の出荷だけなので、梅酒特区が地域活性化の起爆剤になること

を期待したい」と話した。

梅酒特区の関連法案は国会で審議中。認定は早くして今夏ごろの見通し。